



OSAKA JONAN  
JAPAN



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

## WEEKLY BULLETIN

創立  
幹事 1969.5.30  
金山信利

会長 小林正啓  
会報委員長 元氏成保

Rotary



Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度国際ロータリー会長 シェカール・メータ

### 本日の例会 2月4日(第1例会ハイブリッド)

- 場所 シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間
- 表彰 ・ホームクラブ連続皆出席  
石濱(120) 浅井(100) 奥田(80)  
金山(30) 山本(英)(30) 井上(20)  
青野(10) 村上(10) 各会員
- お祝 ・誕生日  
青野 岩永 永井 奥田 鈴木  
各会員  
・会社創立記念日  
青野 金山 岡 各会員
- 卓話 「基本的教育と識字率向上・財団補助金について」  
地区国際奉仕委員会 委員長  
北井雄大氏(大阪平野RC)  
(山本智重国際奉仕委員長担当)
- 理事会 中止
- クラブフォーラム(国際奉仕)  
13:40~15:00 中止

### 次週のお知らせ 2月11日(第2例会ハイブリッド)

休会

### 次々週のお知らせ 2月18日(第3例会ハイブリッド)

- 場所 シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間
- 卓話 「インターナショナル・ホテルの『今』」  
(株)近鉄・都ホテルズ  
シェラトン都ホテル大阪  
副総支配人 淀 誠二氏  
(勝島寿男会員担当)

### 先週の記録 1月28日(第4例会ハイブリッド)

#### ●出席報告

出席会員32名(内免除会員4名)  
会員総数46名(同上13名)

ゲスト 0名  
ビジター 0名

計32名  
ホームクラブ出席率86.48%  
1月14日(第2例会)補正出席率100%(MU6名)

#### ◆会長の時間◆



今年度の会長方針の一つである細則の改正について、2月と4月の情報集会で議論し、6月の臨時総会で審議する予定ですが、今後会長の時間において少しずつ改正案をご説明します。

今回は現行細則1条の定める理事・役員に関する事項の改正です。主たる改正点は第一に、複雑で難解な現行の条文を整理したこと。第二に、理事を11人から減員できない現行細則を、総会決議により減員できると改正すること。第三に、総会で選挙される理事と理事会に選任される理事の2種類の理事がいる現行細則を改正し、理事全員が総会で選任されたことです。ベテラン事務局の高谷さんが退任したのち、若い会員が細則に則りクラブを運営するためには、シンプルで分かりやすい細則に作りかえる必要があります。

#### ◆幹事報告◆

○1月24日(月)に大阪モデルの警戒信号が赤色に変更され、1月27日(木)よりまん延防止等重点措置が適用される見込みとなりました。これを受け、1月31日(月)から2月20日(日)までガバナー事務所運営体制を全員テレワーク勤務体制に変更します。実施期間中、ガバナー事務所は施錠されていますので、ガバナー事務所に御用がある場合は担当事務所員にお申し付けください。

○1月26日(水)に「六輪会」がオンラインで開催されました。

平和構築と紛争予防月間

R I 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2520

2022-2-4

事務所 〒542-0012 大阪市中央区  
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号  
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899  
<https://osakajonan-rc.org/>  
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL (06)6773-1111  
例会日 金曜日 12:30

## 〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

3年後のガバナー補佐の選考方法について指名・立候補・また11クラブの輪番制など色々と案が出されました。3年後のガバナー補佐は会長・幹事会(六輪会)で、どのクラブから選出するかを決める形となりそうです。選考方法決まり次第また報告いたします。

○1月27日に後期地区資金として、39万1,000円を地区宛送金しました。

### 卓話 1月28日〈第4例会ハイブリッド〉

#### 「日本の死刑について」

中本和洋会員



日本の死刑は、140年来、絞首刑となっている。

刑務官が話した死刑の様子は、次の様である。

執行当日の朝、本人に告げられる。執行ボタンを押す刑務官も当日告げられる。

収容室から刑場の入口まで歩いて行く。通路や刑場入口には、盛り塩と香炉が置かれ、教誨師と会い、金色の仏像が壁にはめ込まれた部屋に入る。ここで拘置所長から正式に死刑執行を告げられる。検事、刑務官、拘置所の職員、医官が立ち会う。教誨師から最後の説教を受け、遺書を書くことが認められる。

これらの儀式が終わると、死刑囚は目隠しをされ、手錠をかけられる。執行室にロープが垂れ下がっており、内部に90センチ四方の「踏み板」がある。

検事などの立会人は、立会室でガラス越しに執行を見守る。執行ボタンが押され、身体が落下すると、地下で刑務官が2人待機しており、1人が抱きかかえるようにして受け止め、ロープでぐるぐる回ってしまうことを防ぐ。医官が死亡を確認する。落下から死亡確認まで15分、以上が死刑執行の様子である。

現在、日本の死刑確定囚は107人である。



▲ハイブリッド例会

### にこにこ箱

1月28日(第4例会ハイブリッド)

1月ニコニコ合計 346,000円

(編集担当 恒元・岡)

会員増強にご協力を!!